

令和5年度中長期計画アクションプラン

※各事業の経営目標に対応する取組については、令和5年度事業計画のとおり

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
II 経営基盤の強化						
5 「運営」から「経営」へ						
(1) ブランド力の向上						
	・ロゴの使用、共通デザインなどによるイメージ向上策の検討（令和2年度～）	広報委員会	費用対効果などから優先順位をつけ、導入できるものから実施する		○	
(2) 広報戦略						
	・SNS等の利用方法の検討（令和2年度～）	広報委員会	発信情報チェック及び更新が途絶えない仕組み作り	○	○	
	・ホームページのリニューアル（令和2年度～）	広報委員会	アクセスカウンタ等の分析により、HPでのより効果的な情報発信を目指す	○	○	○
(4) 職員の意識改革						
	・中長期計画の理解促進（令和2年度～）	事務局	5年後の見直しに向けて、中間年である令和4年度の取組結果を整理し、到達点を決定する	○	○	
	・外部からの評価向上の取組（令和2年度～）	事務局	外部への法人取組内容の周知のため、HPをレスポンス化する	○	○	○
6 生産性の向上						
(1) 業務の効率化						
	・事務分掌の見直しによる業務内容の明確化（令和2年度～）	事務局	事務分掌を取り纏め、記載内容の明確化を図り、法人内で事務分掌の記載方法を統一化することにより、各セクションの業務内容を明確にする		○	○
	・各業務のマニュアル化の推進（令和2年度～）	事務局	各委員会で取り纏めたマニュアルを確認し、マニュアル化の推進を検討する	○	○	○
	・経費節減に向けた情報共有と検討の場の設置（令和2年6月～）	事務局	法人内の経費削減について、情報共有を行う仕組みをつくる		○	○
(2) ICT、IoT、AI、介護ロボットの活用						
	・各部会等でICTや介護ロボットを活用できる具体的業務と法人内での普及方法の検討（令和2年7月～）	ICT推進部会	法人（特に入所施設）のICT導入への方向性（普及方法・時期・予算付けほかを含む）を経営的判断として、リハビリセンターを加えた特養4園会議において検討した上で、ICT部会で具体的な情報収集・検証を行う	○	○	○
	・専門業者による説明会等への参加や情報収集（令和2年6月～）	ICT推進部会	各施設においてICT機器のデモ・無料借入を行い、部会において情報を共有する	○	○	○

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
	・ICTや介護ロボットの導入に向けた補助金活用の検討(令和3年度~)	ICT推進部会	補助金(ICT関係)の情報を適時収集する	○	○	○
	(3) タスクシフティング(ボランティア・シニアの活用推進)					
	・各施設、研修指導センターにおける研修の実施(令和2年度)	入所施設部会	ボランティア等に対するOJT導入の「基礎介護の資料」を基に、地域の特徴を活かして各職場版を作成する	○	○	○
	・受け入れの開始(令和3年度)	入所施設部会	体制を準備し、ボランティアの募集方法等について、検討する	○	○	○
7	SDGsへの取り組み					
	・SDGsの理念、目標等に関する法人内部への理解促進(令和2年度)	事務局	法人内目的別研修として「SDGs・地域貢献研修」を実施し、法人内取組提案募集に向けた意識転換を目指す	○	○	○
	・目標達成に向けた取り組みの外部に向けた積極的な情報発信・広報活用(令和3年度~)	事務局	実際に取り組んでいる内容をHPで紹介する等、効果的な発信方法を検討する	○	○	○
8	危機管理体制の整備					
	(1) リスクマネジメント					
	・ヒヤリ・ハット事例集の作成(令和2年度~3年度)	入所施設部会	インシデント事例の情報を活用できるように、どのような形で共有していくのか検討し、法人内施設に周知する	○	○	
	・ヒヤリ・ハットの徹底的な分析・共有(令和2年度~)	入所施設部会	インシデントの報告をしやすい体制を構築し、収集した事例を整理し、場面や予防策の分析を行い、結果を法人内施設に共有する		○	○
	(3) 災害対策					
	・福祉避難所運営マニュアルの策定及び施設内への周知(令和2年度)	災害対策委員会	各市の考えを確認し、各市の状況に応じたマニュアルを策定する	○	○	○
	(4) 感染症対策					
	・スタンダードプリコーションの徹底及び入口での「水際対策」の徹底と職員の衛生管理面の強化(令和2年度~)	福祉施設看護師部会	新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更(5類移行)を踏まえた必要な衛生対策について検討を行う	○	○	○
	・発生から終息までの対応を系統立てた新しい法人内共有マニュアルの策定(令和2年度~)	福祉施設看護師部会	新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更(5類移行)に対応した内容について検討を行う	○	○	○

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
IV 利用者サービスの充実						
1 各事業におけるサービスの充実						
(1) 介護保険サービス						
	・地域ニーズの把握及び地域の介護ニーズに対応するサービスメニューの検討（令和2年度～）	入所施設部会	地域包括支援センター等に質問シートを送付し情報収集をし、ニーズに即したサービスメニューを検討する	○	○	○
	・魅力ある職場づくりのための事業団職員及び福祉専門学校生等を対象にした就労意向調査の実施（令和2年度～）	入所施設部会	①令和2年度に収集した調査項目と介護協の公開データを照合し、各施設近隣の学校等に意向調査を行うか再度検討する ②実習生にとって魅力ある職場作りに向け、実習から就職へ結びついた職員へのアンケート調査の結果を職員に周知する	○		
(2) 障害者福祉サービス						
	・職員の意識改革及び支援の工夫・改善（令和2年度～）	リハビリ	施設内の定例会議や外部研修、勉強会を通じ職員の意識改革や支援の工夫・改善に努め、リハビリセンター、館林センター、まるべりー3施設での研修・会議の場を新たに年1回設けて、知識・情報の共有と相互の連携強化を図る	○	○	○
	・介護と看護の一体的支援（令和2年度～）	リハビリ	利用者のよりよい生活に向けて日々のケアを介護・看護で縦割りではなく共に行う体制を整える。具体的には、食事介助・経管注入の分担の見直し、情報共有の時間の確保、寮で看護情報にアクセスできるパソコン環境の整備、業務日課表の一本化を行う	○	○	○
(3) 指定管理事業						
	・ICTの活用による利用者サービスの充実（令和2年度～）	指定管理施設 連携会議	同様施設のICT化情報を集めるため、WEBアンケートを実施、分析し、結果をもとに、各施設で導入できるものがないか、検討する	○	○	
	・専門性のある職員の相互協力による新規事業の検討（令和2年度～）	指定管理施設 連携会議	連携事業案から実施可能で、利用者ニーズがあると思われるものから、スケジュールを立て、試行実施する		○	○
2 ケアの質の向上						
(1) 個別ケアの推進						
	・個別ケアについて理解を深めるための研修会、事例検討会の実施（令和3年度～）	入所施設部会	現在各施設で異なっている情報収集シートの統一化を図り、個別支援の考え方やその情報収集シートの目的や使用方法（活用方法）を研修する	○	○	○
	・介護専門学校、大学との共同研究の実施（令和3年度～）	入所施設部会	個別ケアについて、介護専門学校、大学と共同研究できるテーマがあるか、検討する	○	○	○

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
	(3) 医療的ケアの充実					
	・ 緊急時対応訓練の実施 (令和3年度~)	福祉施設看護師部会	緊急時対応訓練の実施にあたり、現状の検証と必要な実施内容について検討する	○	○	○
	・ 看護職員による健康管理指導の充実 (令和2年度~)	福祉施設看護師部会	健康管理指導充実のため、特定行為指導看護師を増員する	○	○	○
	・ 医療知識に関する勉強会の開催 (令和2年度~)	福祉施設看護師部会	特定行為指導看護師を増員し、フォローアップ研修のさらなる充実を図る	○	○	○
	・ 配置医師緊急対応加算の取得 (令和4年度までに)	福祉施設看護師部会	看護体制加算IIが算定要件の一つであることから、必要な看護師数を確保するとともに、配置医師へ説明し、協力を仰ぐ	○	○	○
	(4) 認知症ケアの充実					
	・ すべての特別養護老人ホームにおける認知症ケア加算の取得 (令和3年度~6年度)	入所施設部会	加算算定できる施設を増やすために、指導者等を増やす必要があるため、入所施設部会で法人全体での受講候補者を毎年選定し、該当施設に協力を依頼する	○	○	○
	・ 認知症初期集中支援チームや認知症カフェとの連携の推進 (令和3年度~)	入所施設部会	地域ニーズの把握の質問票に、質問内容を盛り込み(把握のためのシートを作成)、年1回程度状況を把握しアプローチ方法を検討する	○		
	(5) 看取りケアの充実					
	・ 家族支援のあり方の検討 (令和2年度~)	福祉施設看護師部会	新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更(5類移行)後での状況下を踏まえながら、適切な支援方法について検討を行う	○	○	○
	(6) リハビリテーション機能の充実					
	・ 利用者の生活のしやすさや生活の質を高めるためのテクノロジー機器の導入の検討 (令和2年度~3年度)	リハビリ	導入には高額の予算を必要とすることからICT部会及びリハビリにおいて導入(方法も含め)の如何を検討する	○	○	○
	・ 利用者の状況に合わせた社会生活力向上のグループ訓練における内容の充実 (令和2年度~)と体系化 (令和6年度~)	リハビリ	グループ訓練の内容の体系化を段階的に進めて行く	○	○	○

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
	(9) 相談支援事業の充実					
	・相談専門員初任者研修、相談支援従事者フォローアップ研修、現任研修などの受講による相談員の資質の向上（令和2年度～）	相談支援事業部会	初任者研修を受講しても、業務に携わる事が出来ず、資格を流しているケースも有り、所属長推薦の上で、相談支援専門員に興味・関心がある人を発掘し、状況を見極めながら計画的に育成する また、相談員の数と質を確保していく為にはどうしたらよいか、改革案としてまとめる	○	○	○
	・地域におけるインフォーマルサービス情報の収集・活用方法の研究（令和2年度～）	相談支援事業部会	取り纏めたインフォーマルサービスについて精査し、法人内で共有できるか検討する	○	○	○
	3 連携の推進					
	(1) 医療との連携の推進					
	・園長等による医療機関訪問（令和2年度～）	入所施設部会	医療機関との連携について、園長等の訪問の意義や効果を園長や看護職員、生活相談員に確認し、必要性を検討する	○		
	・特別養護老人ホームの生活相談員と医療機関のMSWとの連携の推進（令和2年度～）	入所施設部会	医療機関、医療施設に訪問しMSWと顔合わせを行い、回数・時期等を検討し、訪問を定例化する		○	
V	人材育成と人材確保					
	1 人材育成のための環境整備					
	(1) キャリアパスの充実					
	・専門性に係る等級整備（介護員）（令和2年4月～3年3月）	事務局	介護職員用キャリアパスの素案を作成し、入所部会での意見を取り入れて決定する		○	○
	・1、2種職員の職務内容、役割の明確化（令和2年4月～3年3月）	事務局	キャリアパス表に1種と2種の違いについて明記し、周知する		○	
	・非常勤職員の職務内容、キャリアアップ、登用への道筋を明記（令和2年4月～3年3月）	事務局	キャリアパス表と同様に、非常勤職員の登用条件と職務内容を明記する			○
	(4) マネジメント力のある職員の養成					
	・「マネジメント力が高まる研修体系」の策定（令和2年度）	研修センター	研修内容・時間等を再検討し「マネジメント力が高まる研修体系」を構築する	○		
	・研修指導センターにおけるマネジメント力向上研修の実施（令和3年度）	研修センター	次年度はSLまでの職員に向けたマネジメント研修を実施する 効果測定の仕事みづくりに着手する	○	○	○

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
	・良質な福祉サービスに直結する人材を育成するための職員の養成（令和2年度～）	研修センター	トレーナーの育成を目標として、職場に活かせる工夫（伝達研修等）や効果測定方法（1~2ヶ月後の上司・本人評価等）を確立する	○	○	○
2	働きやすい環境の整備					
	(1) 「働き方改革」への対応					
	・同一労働同一賃金に向けた法人内の各雇用形態の見直しとバランスのとれた賃金体系を再構築（令和2年度～）	事務局	給与改定と合わせて取り組む	○	○	○
	・時間外労働削減に向けたアクションプランの策定（令和3年度～）	事務局	各職種役職の職務上の負担状況の把握を調査し、役職手当等の妥当性を検討する	○		
	・シニア・障害者・生活困窮者等の参入促進（令和3年度～）	事務局	今後の障害者雇用率の引き上げに対応できるよう、主に未雇用施設を中心に問題点の洗い出し、対応を検討する		○	○
	(2) 職員の安全と健康の確保					
	・職場環境の改善計画の策定（令和3年4月～令和3年10月）	事務局	アンケート内容を確認し、問題点を再調査する	○	○	○
	(3) 給与制度の見直し					
	・職員が将来期待、予測のできる賃金水準を示す賃金モデルを作成（令和2年4月～3年3月）	事務局	職種ごとの賃金モデルを作成し、給料表改正を行う	○	○	○
	・職位に応じて給与処遇の行える給料表への改正（令和2年4月～3年3月）	事務局	職種ごとの賃金モデルを作成し、給料表改正を行う	○	○	○
	・職種間、世代間で生じている不均衡の是正（令和2年4月～令和3年3月）	事務局	職種ごとの賃金モデルを作成し、給料表改正を行う	○	○	○
	・2種職員の給与条件の見直し（令和2年4月～令和3年3月）	事務局	1種の給与見直しをうけて現在の給料が妥当か検証を行う	○	○	○
	・3種職員、臨時職員、再雇用職員等の給与の見直し（令和2年4月～令和6年3月）	事務局	再雇用常勤職員給与について、改正を行う	○	○	○
	・等級昇格時の昇格昇給の検討（令和2年4月～令和3年3月）	事務局	等級ごとの賃金バランスを加味しながら給料表の改正を行う	○	○	○
	(4) 福利厚生制度の見直し					
	・全ての職員が利用できる制度として現在の制度を見直し（令和3年4月～令和4年3月）	事務連携会議	扶養手当・住居手当について、同一労働同一賃金に対応した制度となるような案を作成する	○	○	○

未来創造クローバープラン(中長期計画)			令和5年度アクションプラン			
項目 大 中 小	具体的取組	主担当部門	R5取組内容	実行時期		
				4~7月	8~11月	12~3月
	・現在の制度概要（一目でわかる制度のパンフレットの作成）（令和2年度）	事務局	現在の制度概要のパンフレットを作成する			○
	・新たな制度の検討（令和3年4月～令和4年3月）	事務局	外部コンサルティング事業を取り入れる	○	○	○
3	人材の確保					
	(1) 介護人材の確保対策					
	・人材確保のためのチームの設置（令和2年度～）	事務局	新たなチームの設置ではなく、事務局及び入所部会を中心に、人材確保の課題解決のための取り組みを行う	○	○	○
	・HPに求職者向けのページを作成（令和2年度～）	広報委員会	今年度入職した職員に入職前の法人情報へのアクセス方法を調査し、求職者ニーズの把握を図る	○		
	・新卒者獲得のためのPR活動（令和2年度～）	広報委員会	HPやパンフレットの充実を図るための提案とルール作りを進める	○		
	(3) その他専門職の確保対策					
	・福祉施設の魅力発信（令和3年度～）	広報委員会	他法人の状況を参考にしながら、発信内容を整理する			○
	・HPやパンフレットの充実（令和2年度～）	広報委員会	本部HPへの意見と本部の考え方（令和4年度）を元に、HPやパンフレットの充実を図るための提案とルール作りを進める		○	
	・施設横断的な研修の機会を設け、成長できる職場環境づくり（令和3年度～）	研修センター	情報交換・繋がり・専門性の向上を目的とした少数の専門職向け研修の実施に向けて、現況確認のためのアンケートを実施する	○	○	○
VI	地域とのつながり					
2	地域貢献の推進					
	・定期的な部会開催により、取組状況や地域包括ケアシステム、災害時ネットワーク、なんでも福祉相談等で得た情報の共有（令和2年度～）	地域貢献推進部会	年数回の部会開催時に各種情報の共有をしていくこととする	○	○	○
3	関係団体との連携（パートナーシップの推進）					
	・地域の福祉・生活課題のニーズ整理（令和2年度～）	地域貢献推進部会	地域のニーズを施設ごとに調査・把握し、その結果を整理して、複数の施設による共同取組の可否について協議・検討する	○	○	○